

## 生物科学学会連合 第23回連絡会議 議事録

**日時**：2009年10月5日（月）14:00～16:00  
**場所**：東京大学 山上会館 201・202 会議室

**出席**：宮島 篤（生科連2009-2010年代表・日本生化学会）  
入江 賢児（生科連2009-2010年副代表・日本細胞生物学会）  
浅島 誠（生科連前代表・日本動物学会）  
毛利 秀雄（国際生物学オリンピック日本委員会委員長）  
鎌田 直人（個体群生態学会） 宮本 武典（日本味と匂学会）  
岩崎 博史（日本遺伝学会） 山下 雅道（日本宇宙生物科学学会）  
河田 光博（日本解剖学会） 福田 裕穂（日本植物学会）  
岡野 栄之（日本神経化学会） 村上富士夫（日本神経科学学会）  
北 潔（日本生化学会） 嶋田 正和（日本生態学会）  
田幡 憲一（日本生物教育学会） 曾我部正博（日本生物物理学会）  
漆原 秀子（日本発生生物学会） 小泉 修（日本比較生理生化学会）  
木暮 一啓（日本微生物生態学会） 福田 博（日本分子生物学会）  
浅井 保至（日本免疫学会）  
安原 一（日本薬理学会）

（計20学会22名）

**欠席**：日本植物生理学会 日本進化学会 日本生理学会 日本比較内分泌学会

（計4学会）

中西 秀彦 山口 恵子（事務局）

（敬称略、学会名五十音順）

**議長**：宮島 篤

- ・本連絡会議は本年度第二回目の連絡会議である。会員出席数および欠席委任状の数の合計が総会員数の2/3以上となったため、「運営に関する申し合わせ事項」の付則2により、本連絡会議における満場一致の議決事項については生科連の決定事項として採用される。

### 議題・報告：

#### 1) 前回議事録の承認

前回議事録案が確認され、承認された。

#### 2) 申し合わせ事項の変更について

代表より入会方法に関する第8条について変更の提案があり、承認された。従来入会に際しては既会員である2学会の推薦を受けて代表へ入会を通知することで承認されたが、以後は入会申込に対し審議の結果既会員過半数の賛同が得られれば承認となる。また入会申込書の書式案についても採用することが承認された。

#### 3) 各種周知協力依頼への対応について

生科連ホームページへ催しの案内掲載を希望する団体や生科連への後援等の名義使用を希望する団体のために作成された事務手続き用の書式案について、採用することが承認された。

#### 4) 生科連加盟学会への調査票回答結果について

8月19日付で各学会へ行った調査の結果について、調査中の学会を除き報告がなされた。調査の結果得られた情報の取扱いについて以下の通り決められた。

- ・生科連ホームページへ公開するのは、調査結果のうち加盟学会事務局一覧及び2010年学術集会予定表のみとする。
- ・加盟学会の会員数や役員氏名等の情報については、現状では情報の鮮度や正確性を維持するのが難しいので公開はしない。生科連としては従来通り各学会ホームページへのリ

ンクにとどめ、訪問者には各学会の情報を各学会ホームページで参照してもらうようにする。ただし生科連として公開はしないが年に一度調査を行い、連絡会議で報告する。

- ・加盟学会のジャーナルに関する情報等、今後の議論の上で重要な資料となりうるので、調査自体は完成させ、結果を加盟学会に報告する。

#### 5) 科学技術政策のありかたについて

10月3日付で発表された日本発生物学会会長声明に関連して、同学会の漆原委員より相沢慎一会長から生科連への要望が伝えられ、また声明に関する経緯の説明がなされた。相沢会長からの要望は以下の2点。

- ・この機に、生科連としても科学技術政策についての意見表明のあること。
  - ・あるいは各学会で検討の上、科学技術政策について何らかの意思表示がなされること。
- 現状では生科連として迅速かつ具体的に動くのが難しいことから、本件に関しては各学会で検討の上どのように対応するかを10月末頃までに生科連へ通知することになった。

#### 6) 学会法人化について

浅島前代表より法人化に関する現況の説明がなされた。宮島代表より5月30日に学術会議で開催されたシンポジウム「学協会の公益法人制度への対応の現状と課題」参加報告がなされた。当該シンポジウムには、既に法人化した団体や準備を進めている団体の関係者から体験談を聞く機会が設けられていた。生科連でもそのような場を設定することは一案であるが、その後政権交代があるなどして今後の法人化に関する情勢を読むのは難しく、学会としては当面、既に受理されたり修正を行ったりした前例などの情報収集を引き続き行う状況となりそうであるとの見解が代表よりなされた。

#### 7) 日本学術会議からの報告

浅島前代表より学術会議関連の話題が紹介された。学術会議で学協会の意見や検討を求め予定となっている事項に関連して、10月16日の学術会議総会開催後、同月21日には詳細情報を生科連で入手して加盟学会へ配布し、各学会ではその情報をもとに検討を行うこととなった。

#### 8) JBO 活動状況および IBO2009 開催報告

毛利氏より、7月に茨城県つくば市で開催された国際生物学オリンピック 2009 (IBO2009) の報告がなされた。日本代表の4名は全員がメダルを手にし、うち1名は生物で初の金メダリストとなった。作題については、知識を問うものが少なく解答のプロセスを重視する理論問題の良問が多かったとのこと。

また日本代表の国内選抜を行う日本委員会 (JBO) の活動について、応募者が増加の傾向にあること、2次試験は当面つくばと広島で毎年交互に開催される予定であること等が毛利氏より報告された。

#### 9) 生科連の今後の運営方法・活動について

生科連の現状の機能や運営方法等について代表より問題提起がなされた。今後の組織や運営方法等についてワーキンググループを作ってまず検討することとなった。メンバーは代表の指名を受けた漆原委員、小泉委員、嶋田委員、曾我部委員、福田 (裕) 委員と、宮島代表、入江副代表、浅島前代表の計8名。

中西印刷 (株) より生物学会構想の提案がなされた。

#### 10) その他

- ①代表より後援名義使用承諾がなされた応用物理学会主催公開講演会『物理が切り開く先端医療—ここまで来た医療技術—』について確認された。
- ②次回連絡会議は2010年1月22日 (金) 午後に東京で開催予定。

以上